

伊東市民病院で  
ごばいほす。

Vol.9  
2018.1  
January

新年スペシャル対談

小野達也  
伊東市長



荒堀憲二  
管理者

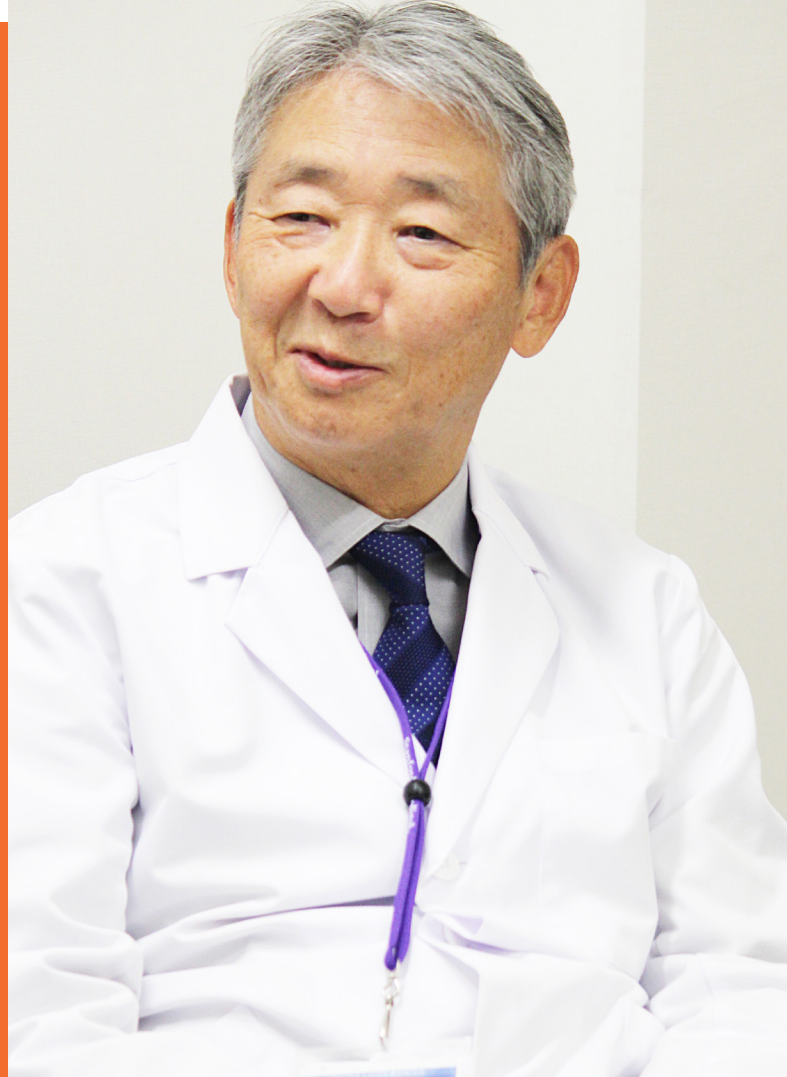


# スペシャル対談

## 荒堀憲二 管理者

市民病院荒堀憲二管理者によるスペシャル対談が実現しました。

### 安心して在宅で過ごして いただくための応援にも 力を入れたい



休日の過ごし方は？

**小野達也市長** 2、3時間あったら日帰り温泉に行ったりリラックスしています。もし丸1

日休めたらゴルフをしたいですね。

**荒堀憲二管理者** 私は時間が取ればゴルフやトレッキングを楽しんでいます。

**小野** それはいいですね！

伊東市の魅力と課題は？

**小野** 伊東市の魅力はと言いつと、いろいろなものが揃っていますよね。例えば食の素材、自然の景観、温泉など、観光の要素がいっぱいあって。でも、どれが一番なのかなかなか決められなくて、『伊東の良さって何？』って聞かれたとき一番困ってしまうんです。本当の魅力は何？って言われると、ちよつと買いかぶりだけど人の良さや心温かさかな、と。だから、気候が良くて人柄が良いということが一番の魅力ではないか、と思います。医療の分野に関しては、市民の心配の多くは救急救命対応力にあると思います。その部分で伊東市民病院の存在が市民の皆さんにとって安心なのかな、と思います。

**荒堀** 私は、以前日本海側で仕事していたことがありました。1年の半分くらいは雪が曇りだったので、伊東の魅力という自然もそうですが晴れた日が多いな、住み心地いいなと感じます。医療の分野において、市民病院では救急医療はどんなことがあっても守るということを使命としてやっています。難しいことではあります。より多くの病気に対して治療ができるように充実を図ってほしい、と思いますね。

今後の伊東市の医療と介護についてどのようにお考えでしょうか

**小野** 伊東市は65歳以上の方が40・7%と20年先の日本の平均を超えています。当然介護についての問題はついてくるので、官民一体で取り組みながら需要に添えていきたいとは思っています。健康寿命をキープしていくために市民病院に積極的をお願いしたいことはたくさんあります。

**荒堀** 市民病院は救急に対応する急性期患者のための病院ですので、入院された方が長期化してしまうと具合が悪いですね。できるだけ早く在宅へお戻しするということになると、やはり在宅医療や介護が重要になります。これらについては伊東市が丸になつて取り組んでいかないとはいけません。

**小野** そうですね。

**荒堀** 在宅医療については開業医さんだけではやりきれない状況があると思うので、市民病院として開業医の先生方をお手伝いすることが必要だと思います。当病院を退院されて間もなくはこちらが対応させていただきます。後は開業医さんをお願いする、という体制を作っていきたいと思っています。リハビリに関しては体制ができていて、まだわずかですがやり始めています。さらに介護サービスとも連携していけばご家族の方も安心だと思いますので、病院で入院治療をされている方々が同じような環境で、知っている看護師やドクターが関わることによって安心して在宅で過ごしていただけるという活動に力を入れていきたいです。



# 新年スペシャル

## 小野達也 伊東市長



新年のスタートを記念して、伊東市の小野達也市長と当病院

### 官民一体となって 介護の問題に 取り組んでいきたい

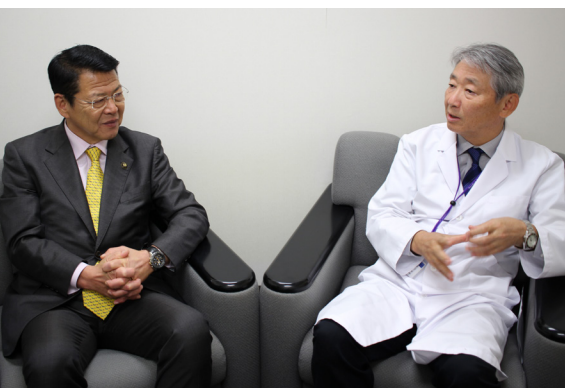
また、お家の方が介護疲れを感じ、少し休ませてほしい、と言った時に短期間入院が出来るとレスパイト入院というものがあります。医療が少し必要な人については市民病院でも対応させていただいています。開業医さんが在宅で診ている方についても、急に悪くなった時に病院がしっかりとバックアップして数日も入院させてくれれば安心だ、という声もあるのもこれにも力を入れていきたいと思っています。この場をもっと広報させていただきます。

#### 今後の抱負をお聞かせください。

**小野** 子どもが生まれる数が年々減っています。『若い人も多くて子育てしやすいなら伊東に住もう』という風に思ってもらえるような政策を打ち出したいと思っています。これから国もやっていくことですが、就学前の保育料や教育費を市が全額負担するというものを積極的に実行していけば子育てしやすい環境が作れると考えています。産婦人科がしっかりしている市民病院に出産前から出産、育児に至るまでお母さんの悩みに答えていただきたいし、少子化の流れを変えていく力の源になっていただけたら、と思っています。

#### 荒堀 なるほど。

**小野** ですから、妊娠期間からいろいろな形でもっとこんなサービスを公的にやったらどうか、というのを先生からぜひご提案いただけたら、と思っています。国は幼児教育を無償化すると言っていますから、先行して伊東市がやっていくことで、若い世代が子育てしやすい環境が作れると思っていますので非常に期待しています。



**荒堀** 産後ケアやお母さんの不安・うつが日本中で大きな問題になっていきます。親子関係にも大きく関係することです。現在、日本では産婦人科医が少なくなっていて、一点集中という形で大きな所で集め、そして帝王切開で出産するという風の流れつつありますが、当病院ではそうしないで、できるだけ自然に産んでもらえるように、助産師が親身になりながら医者も自然に生まれることを期待して、お母さんが本来持っている力を引き出すようなお産を目指したいと思っています。ですので、手作りのお産をちゃんとやっていきたいと考えているので、伊東市にお住まいの方やこちらでお産したいという方、手作りで安心したお産をしたいと思う方はぜひ来てもらいたいですね。病院全体としては、救急をもっとレベルアップしていきたいし、地域医療支援病院を目指している中で若いドクターも増えています。救急車やドクターヘリを活用し、伊豆半島全体を視野に入れた医療ができる病院にしていきたいと考えています。

# 大切なお知らせ

初めて受診する方、以前に受診歴があっても新たな病気やけがで受診される方は、

**かかりつけ医からの『紹介状』をご持参ください。**

\* 紹介状はかかりつけ医や他の医療機関の診療科が同じでなくても結構です。

\* 紹介状をお持ちの方は、特定初診料3,240円(税込)の負担がありません。

**平成30年1月4日より原則『紹介制』『紹介予約制』とさせていただきます  
(診療科により異なりますので、詳細は外来診療担当表をご覧ください)**

皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



## 地域医療連携室便り

### 地域連携懇談会レポート

11月20日(月)に地域連携懇談会が伊東市医師会館にて開催されました。

伊東市医師山本会長の講演では、伊東市における在宅医療の現状として、高齢化率が上がり高齢者の独居世帯や高齢者夫婦世帯が増加する中、在宅医療連携拠点がない、かかりつけ医の24時間365日の在宅ケアが難しい、といった問題点を挙げ、往診や訪問診療を行っている診療所は、「在宅療養後方支援病院」の活用推進、そして当病院には、「在宅療養後方支援病院」として、かかりつけ医が緊急時に往診や訪問診療が出来ない場合、速やかに当病院で救急診療を行える体制づくりへの期待を述べられました。今後その対策のひとつとして、「シズケア\*かけはし」と呼ばれる静岡県在宅医療・介護連携情報システムを活用することで、多職種での情報共有をよりスムーズにしていきたい、というビジョンを語られました。



伊東市医師会山本会長の講演



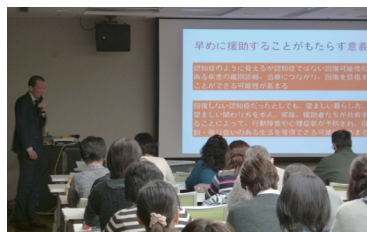
シズケア\*かけはしの具体的な使い方について説明する地域医療連携室出口副室長

### 認知症研修会を開催しました

12月25日(月)に当病院講堂にて開催された認知症研修会は、「認知症の理解と援助ー認知症のある人のためにこれから必要なことー」というテーマのもと、北里大学医学部精神科学診療講師の大石智先生による講演が行われ、医療従事者41名が参加しました。

講演では、認知症への認識に関する問題点として、過剰診断や誤診、不十分な原因診断、薬物療法への過信が挙げられ、「今後は認知症に対して理解している人を増やし、認知症のある人が安心して生活できるよう社会全体で取り組むことが求められており、そのためには効果的で効率的な教育・啓蒙が必要である」と述べられました。参加者からは「とてもわかりやすく日々の活動の参考になった」「医師の視点での考えを知り、アセスメントの幅を見直せた」などの感想が寄せられました。

本年も認知症に関する知識の普及に努めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



伊東市民病院  
Ito municipal hospital

〒414-0055 静岡県伊東市岡196-1

TEL:0557-37-2626

<http://www.ito-shimin-hp.jp/>

伊東市民病院

